

十五夜・十三夜の演出を行います！

9月21日は十五夜、「中秋の名月」とも呼ばれ1年で最も月が美しく見えるとされます、昔から旧暦の8月15日に月を鑑賞しながらその年の収穫などに感謝をする日本の伝統行事。

みちのく公園では南地区ふるさと村「釜房の家」に生け花やモニュメントを設置し、お月見演出を行います。

また、10月18日は十三夜（旧暦の9月13日）、深まりゆく秋の演出も行います。十三夜は十五夜に次いで美しい月だと言われており、中秋の名月である十五夜から約1カ月後に巡ってきます。

みちのく公園ふるさと村で古き良き風習に触れてみてはいかがでしょうか？

場 所：南地区ふるさと村「釜房の家」

展示期間：【十五夜】2021年 9月18日（土）～ 9月26日（日）

：【十三夜】2021年10月16日（土）～10月24日（日）



令和3年9月16日撮影

資料配信先：宮城県政記者クラブ・仙台市政記者クラブ・東北電力記者クラブ・仙南記者クラブ

問合せ

国営みちのく杜の湖畔公園 みちのく公園管理センター
〒989-1505 宮城県柴田郡川崎町大字小野字二本松53-9
Tel 0224-84-5991(代) Fax 0224-84-5992

企画運営課長 合田健太郎（内線672） 広報担当 菅原 利之（内線673）

アレンジ作者プロフィール



笹氣治男 (ささき はるお)

仙台市生まれ1994年から2019年オーダーメイド専門のフラワーショップ「ピアンタ」を営業。その間フラワーアレンジメントクラスを主宰。
東北各県への出張講座をはじめ、仙台市内各所においても講師を務める。
また、2007年より2010年までピアノと花によるコラボレーションコンサートを開催。
現在川崎町在住。

南地区ふるさと村 「釜房の家」



みちのく公園HP

<https://michinoku-park.info/>

